

プロジェクト報告書

団体名 児童自立援助ホーム ぐんま風の家

1. プロジェクト名

一人暮らし体験サポート

2. プロジェクトの目的とその背景 300字まで

目的・・・ホームを退居し自立生活を始めようとする児童に、退居前の一定期間、ホームの近くに借りたアパートに住ませ、ホームのスタッフが本人に必要な支援をし、自立生活を体験させる。

その背景・・・今まで、当ホームを出て自立生活を始めたものの、数ヶ月でアパートを出てしまった児童が少なからずいました。それは、いきなり一人になったための孤独感に耐えられなかったり、日常生活のスキルが身につけていなかったなどのためと思われます。そこで、この事業により一人暮らしの体験をさせれば、児童がスムーズに自立生活に移行できるのではないかと考えました。

3. プロジェクトの内容 300字まで

当ホームの近くに、ホームが賃貸料金を負担してアパートを借りる。

そこに、当ホームを退居し自立生活を始めようとしている児童に、その1～2か月前から住ませ、一人暮らしの体験をさせる。

そして、当ホームのスタッフが必要時または定期的に訪問し、転居に必要な手続きや仕事の相談、金銭管理や日常生活に対する助言等、本人に必要な支援を行う。

これらのことを通して、児童が自立生活に必要なスキルや心構えを体得させ、自立生活の橋渡しとする。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果

- ① ホームがアパートを借りることで、一人暮らしを体験させることができました。
- ② ホームの近くにアパートを借りることで、スタッフが訪問しやすく、本人もホームに来やすかったようです。
- ③ スタッフから支援を受け、日常生活のスキルを、少し身に付けることができました。
- ④ 一人暮らしの孤独感を、事前に少し味わい、本番の孤独感を予想することができたようです。
- ⑤ 一人暮らし体験中の住所はホームに置いておき、郵便物等は本人に取りにこさせ、その時に、児童の様子を観察し、体調不良時の相談や支援をすることができました。

5. 体的所感、終了しての感想など

退居を前にしての一人暮らしの体験は、本格的な自立に向けての橋渡しとなったと思われます。

体験した子供たちからは、

「実際に一人暮らしを始めると、色々困ったことがあったが、アパート暮らしが役に立った」「少し、成長したと思った」という感想を聞いています。

就業支援や健康管理、相談の受理等、今後の課題もありますが、有意義な活動となりました。当ホームにはこのような活動への予算は無く、真如苑様のご寄付があって実現することができました。ご支援、ありがとうございました。

6. 参考資料

特になし